東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

国際シンポジウム

東アジアの死生学
超高齢化と死にゆくこと

Death and Life Studies in East Asia : Hyper-aging and Dying

2018年11月24日(土) 13:00-18:00

東京大学本郷キャンパス 文学部3番大教室
(赤門の近く国際学術総合研究棟1階)

主催：東京大学文学部・大学院人文社会系研究科
死生学・応用倫理センター

〈プログラム〉

13:00-13:15 開会の辞および趣旨説明
池澤 優(東京大学死生学・応用倫理センター長)

Ⅰ部

13:15-13:55 共同発表 韓国春川地域における高齢者の自殺とその影響要因に関する調査
パク・ジュンシク(韓国翰林大学社会学科教授、生死学研究所長)
キム・ヨンボム(韓国翰林大学高齢社会研究所准教授)

13:55-14:25 発表 ソーシャル・キャピタルは川崎市地域包括ケアシステムの構築に役立つか？
赤川 学(東京大学大学院人文社会系研究科准教授)

14:25-14:40 コメント
澤井 敦(慶應義塾大学法学部教授)

14:40-14:55 休憩

Ⅱ部

14:55-15:25 発表 台湾における終末期医療の法と倫理 -「患者自主権利法」の成立と「善終」概念の変遷
鍾 宜錚(立命館大学衣笠総合研究機構専門研究員)

15:25-15:55 発表 「死にゆくこと」への介入 - 日韓のホスピス・緩和ケア政策から考える
株本 千鶴(椙山女学園大学人間関係学部教授)

15:55-16:25 発表 死を超越する愛と想像力(Love and imagination that transcends death)
Jason Danely(オクスフォード・ブルックス大学人類学部准教授)

16:25-16:40 コメント
会田 薫子(東京大学死生学・応用倫理センター上廣講座特任教授)

16:40-16:55 休憩

16:55-17:55 総合討論および質疑応答

17:55-18:00 閉会の辞

司会：堀江 宗正(東京大学死生学・応用倫理センター准教授)，池澤 優

お問い合わせ：東京大学 死生学・応用倫理センター dalspe@l.u-tokyo.ac.jp

予約不要・参加無料 / 使用言語：日本語・韓国語(同時通訳付き)